

式 辞

卒業並びに修了を迎えられた学部卒業生の皆さん、大学院の修了生の皆さん、別科日本語研修過程の修了生の皆さん、卒業並びに修了、誠におめでとうございます。

また、今日まで皆さん方を物心両面から支え、励まし、見守り続けてこられ、この日を心待ちにしておられたご家族の皆様のお喜びはいかばかりかと思えます。心からお祝い申し上げます。

本来ならば、皆さんと一堂に会し、旅立ちを祝福したいと考えておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、このように少し寂しい卒業式・学位記授与式になってしまいました。特に、ご家族の皆様には、式にご出席いただくことができず、本当に申し訳なく思います。これは、本学の社会的責任、そして何よりも、皆さん方のいのちと健康を守ることを最優先した結果であることを、ご理解ください。

さて、皆さんは、将来への夢と希望を胸に秘め、それぞれの世界へ飛び立っていかうとされています。これからは、これまで学んできたことを力に、社会の一員として、また一人の人間として、社会に貢献する大きな役割を担うこととなります。社会が求めているのは卒業や修了そのものではなく、皆さんの実際の力、知力や行動力であり、人間としての力、人間力です。

問題に遭遇した時は、これまで学んできたことを基に考え抜いて、失敗を恐れず、果敢にチャレンジしてください。皆さんには、これから社会人として五十年以上の十分な時間があります。失敗してもやり直す時間は十分にあります。失敗を反省し、再チャレンジすることで、次の成功の確率は格段に上がります。

また、そのためには、新しいことを学び続けることも重要です。社会は今、大変革期にあります。人、モノ、情報が世界を駆け巡るグローバル化やデジタル・トランスフォーメーションが急速に進み、ますます、その規模、スピードを増し、かつて経験したことのない広がりです。社会構造全体を変えようとしています。これは、今般の新型コロナウイルス感染の世界的広がりを見ても明らかです。

この社会の変化は、全体としては、人々の生活を便利で豊かに

する一方、格差や社会の分断を生み、変化についていけない人を置き去りにしています。その結果として、アメリカやヨーロッパでの自国第一主義やポピュリズムの高まり、東アジアをめぐる関係国の様々な駆け引きなど、先行き不透明な状態になっています。

このような状態を生み出す根底には、自己中心的な考え方が世界的流れとしてあるように思われて仕方ありません。このような世界的流れの中で、我々はどのように行動していくのか、大きな課題が突きつけられています。それを考える際のキーワードは、「思いやりの心」だと思います。相手を尊重し、相手の立場に立ってモノを考え、行動することが大事だと思います。

皆さんは、本学の理念である「人類愛の存するところ、技術への愛もまた存する」のもとに研鑽を積んでこられました。この大学の理念こそ、普遍的な人間尊重、人類への愛をうたったもので、「人を思いやる心」にあふれたものであります。皆さんも、是非、この「思いやりの心」を持ち続けて欲しいと願っています。

また、学生時代にできた友人を大切にしてください。学生時代に得た友は、一生の友となります。

最後に、皆さんの母校長崎総合科学大学は、いつでも皆さんを待っています。懐かしい恩師との語らいや後輩の激励に来て下さい。

皆さんが、長崎総合科学大学における良き出会いを財産とし、感謝と思いやりの心を忘れず、成長した自分自身を信じて、元気に活躍されることを祈念し、私の式辞といたします。

令和三年三月十六日

長崎総合科学大学

学長 池上 国広